

僕らのポップコンエイジ とは…

1969 年、アマチュアのための作曲コンクールとして合歓の郷で始まった「ポピュラーソングコンテスト（通称ポップコン）」。

ここから、井上陽水、佐野元春、長渕剛、世良公則、玉置浩二、中島みゆきなど、数え切れないほどの実力派ミュージシャンが羽ばたいていきました。

ポップコンと並行してヤマハは、バンドを対象とした「ライト・ミュージック・コンテスト（LMC）」、関西の「8.8 Rockday」や関東の「EastWest」、そして各国のアーティストを日本武道館に結集させた「世界歌謡祭」なども開催。新たな音楽が生まれる土壌を整えるとともに、テレビとラジオの双方で展開した音楽番組「コッキーポップ」を通じ、コンテストで生まれた楽曲の数々を全国へと発信し続けました。

地区予選や周辺のコンテストまで数えると、1970～80 年代中盤までに登場したフォーク・ロック系ミュージシャンのほとんどがヤマハの洗礼を受けたとい

っても過言ではありません。チューリップ、オフコース、サザンオールスターズ、シャネルズ（ラッツ&スター）、チェッカーズ、久保田利伸…大成したアーティストだけでも枚挙に暇がないほどです。

そしてまた、その時代をともに過ごしたリスナーたちも同様です。アーティストと思いを共有し、一体となって、新しい音楽のムーブメントを築き上げていったのですから。

音楽は常に思い出とともにあり、自分が歩いてきた人生と切り離せないもの。

いわば永遠にきらめく宝物ですが、それがあの頃の名曲たちだと胸を張って思える世代が、まさしく「ポップコンエイジ」なのです。

あなたの人生を彩る、大切な1曲は何ですか？ あなたも心の同窓会に参加しませんか？ そして、ポップコンエイジを代表するアーティストたちと一緒になあって、楽しいステージを作ろうではありませんか。

懐かしい思い出を呼び覚ます名曲の数々はもちろん、当時では考えられなかつ

た夢のコラボレーションなど、趣向を凝らしたステージと心弾むひとときがあ

なたを待っています。

TEXT：中崎あゆむ